

遺伝子実験系機器利用登録者 各位

### 機器登録年度更新のお願い

平素は遺伝子実験系の円滑な運営にご協力頂き有り難うございます。  
早速ですが、共通機器の利用に際しては、年度毎に利用登録をお願いしております。

- 1) 機器管理利用心得
- 2) 機器サービス室からのお願い
- 3) 機器マニュアル平成 21 年度版
- 4) 機器利用申請書

1)、2)、3)をご確認の上、4)の機器利用申請書をご提出下さい。3)のマニュアルは機器を利用する上での注意事項等も記入してあります。利用の際には、遵守願います。

原医研所属の方は、利用申請書は各分野で取りまとめの上、メールに申請書を添付してご提出をお願い致します。

部局外の先生方が申請されるに当たりますには、必ず所属分野からのご提出をお願いいたします。また、利用申請書右上に原医研分野長等の承認印が必要となります。分野長等の署名・承認印済みの利用申請書を直接、遺伝子実験系機器サービス室宛にご提出下さい。

利用申請書のご提出後、各機器管理者、遺伝子実験系専門委員長の許可がおりましたら、利用を可と致します。許可書コピーを送りますのでお控え下さい。合わせて、登録完了メールを送りますのでメールアドレスを正確にご記入下さい。

利用申請の提出締め切りを **4月20日(月)**と致します。(平成20年度の利用登録は4月30日(木)まで有効)なお、登録は随時受付しておりますので、利用の際は必ず申請書をご提出下さい。

ご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。

## 遺伝子実験系機器サービス室からのお願い

平成 21 年 3 月 23 日

### ◎使用簿記入徹底のお願い

機器利用後は使用簿への記入をお願いしておりますが、未記入のものが散見されます。機器トラブルの防止や利用状況の把握のため、使用後は必ず機器毎に設置している使用簿に使用記録を記入して下さい。(使用簿のない機器もあります。)

### ◎USB メモリによる PC へのウイルス感染対策について

近頃、USB メモリと PC 間でのデータの授受が多くなっていますが、その反面、USB メモリを介したウイルス感染の被害も他施設では増えているようです。

当施設内の PC にも USB メモリでデータ授受が可能なものがありますが、機器と直結しているため、安易にウイルス対策ソフトを導入できません。

現在、皆様のご協力の下、ウイルス感染の被害は発生しておりませんが、今後とも被害を発生させないために、USB メモリをご使用される際には下記についてご注意ください。

ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

- ・自分の管理下でない PC に接続する際は注意すること
- ・出所が不明な USB メモリは使用しないこと
- ・当施設で使用する USB メモリにウイルスが感染していないか、予め確認する。